

令和5年度
『関西バイオものづくりフォーラム2024』を通じた、
近畿地域におけるバイオものづくり分野の実態調査

【公表版】
調査報告書

令和6年3月22日
株式会社産学連携研究所

目 次

1. 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 頁
2. 事業内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 頁
3. 具体的な実施内容・・・・・・・・・・・・・・・・	4 頁
4. 本事業の成果及び次年度以降に向けた提言・・・・・・・・	16 頁

1. 目的

バイオものづくりは、「遺伝子技術により、微生物が生成する目的物質の生産量を増加させたり、新しい物質を生産するテクノロジーで、社会的課題の解決と経済成長との両立を可能とする、二兎を追える研究分野」として大きな期待が寄せられており、各国で投資・開発競争が激化している。

我が国でも「重点的な投資分野」と位置づけ、当分野の社会実装に向けて、NEDO事業「カーボンリサイクル実現を加速するバイオ由来製品生産技術の開発」が始動しているほか、グリーンイノベーション基金事業「バイオものづくり技術によるCO₂を直接原料としたカーボンリサイクルの推進」、「バイオものづくり革命推進事業」といった大型予算が措置されている。

また、近畿地域においては、バイオものづくり分野を牽引する大学・企業・支援機関等が集積していることが特徴である。さらに、バイオコミュニティ関西(Bio c K)が内閣府より「グローバルバイオコミュニティ」に認定され、産学官の集積を活かしたバイオものづくり分野をはじめとする分科会が多数立ち上がる等、バイオエコノミー社会の実現に向けた活動が活発化している。

このように当分野の投資・連携活動が進む一方で、バイオものづくりの社会実装を加速化するためには、「当分野の認知度の向上」、「技術的課題解決に向けた異分野参入の促進」、「将来のバイオものづくり分野を担う専門人材の育成」が強く求められているところ。

そこで、本事業では、バイオものづくりに関心のある企業、大学・研究機関、支援機関、金融機関等を広く対象に、バイオものづくりの産学官の取組紹介とネットワークの形成・拡大を目的としたイベントを「関西バイオものづくりフォーラム2024（以下、フォーラムとする）」として開催する。併せて、フォーラム開催を通じて得られた情報や知見を調査報告書としてまとめ、近畿地域におけるバイオものづくり分野のポテンシャルの見える化につなげる。

2. 事業内容

履行期限：令和5年10月25日～令和6年3月22日

本事業の目的を達成するため、以下（１）～（４）の取り組みを行った。各取り組みの詳細については、「3. 具体的な実施内容」に記載する。

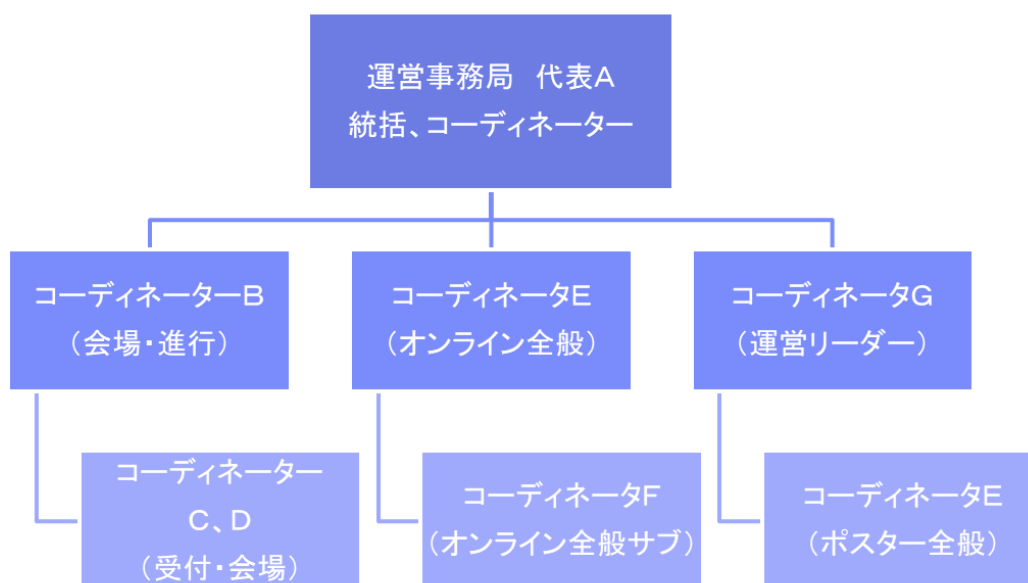
- （１）事務局の設置
- （２）フォーラム開催前の準備業務
- （３）フォーラム当日の運営業務
- （４）フォーラム開催後の業務

3. 具体的な実施内容

(1) 事務局の設置

本事業を円滑に実施するため、本事業に係る事務の一切と全体進捗管理を行う事務局を設置した。選任したメンバーとしては、以下の通りである。

- ・ 事業統括（責任者）： A
- ・ 会場・進行担当： B
- ・ 受付・会場担当： C、D
- ・ オンライン、ポスター全般担当： E
- ・ オンライン全般担当サブ： F
- ・ 運営リーダー担当： G



事業のスケジュールについては、以下の通りである。

		2023年					2024年	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(0) 契約締結		入札～契約締結						★ (契約終了3/22)
(1) 事務局の設置		★ (設置済み)						
(2) フォーラム 開催前の準備業務	①開催日の決定及び会場の確保		日程調整					
	②近畿地域におけるパイオものづくり分野の実態調査		リストアップ・MAP作成					
	③登壇者の決定・連絡調整		キーパーソン日程調整 企業、研究者日程調整					
	④旅費・謝金の支払い							★ (開催後に支払い)
	⑤展示ポスター作成			ポスター作成		ポスター印刷		
	⑥周知活動		HP案作成、宣伝方法検討		特設サイト公開 ★ポスター公開		★講演資料公開	
	⑦フォーラムの申込受付				フォーラムの参加受付 (リアル/オンライン)			
	⑧会場レイアウトの作成				★会場下見 事前接続テスト★	レイアウト検討		
	⑨司会者・会場スタッフの手配		司会者の選定と発注、会場スタッフ後割検討	(近畿局承認)★				
	⑩開催運営マニュアルの作成					(近畿局承認)★		
	⑪アンケートフォームの作成				アンケートフォーム検討	(近畿局承認)★	アンケートフォーム作成	
(3) フォーラム 当日の運営業務	①会場の設営							★ (当日対応)
	②会場の運営							★ (当日対応)
	③登壇者への対応			名札などの対応検討				★ (当日対応)
	④会場参加者への対応			参加者確認方法など				★ (当日対応)
	⑤オンライン参加者への対応		オンライン交流検討、参加者確認方法など					★ (当日対応)
	⑥スクリーン管理					試行配信		★ (当日対応)
	⑦映像のオンライン配信	オンライン担当外注先選定				試行配信		★ (当日配信)
	⑧司会進行				司会進行の原稿作成			★ (当日)
	⑨アンケートの実施			QRコードの準備など			アンケート回収	
(4) フォーラム 開催後の業務	①イベント参加者数の報告							★ (当日)
	②開催まとめの作成							★ (開催まとめ作成)
	③オンデマンド配信の対応		オンデマンド対応検討				オンデマンド対応 (～3/22)	
(5) 調査報告書の作成							報告書作成	

（２）フォーラム開催前の準備業務

＜①：開催日の決定及び会場の確保＞

- ・ 仕様書に基づき、会場候補を下表のとおりリストアップし、それぞれ以下のホールを仮予約した上で、キーパーソン４名の出席可能日を考慮しながら、近畿経済産業局（以下、近畿局とする）と相談した結果、中之島エリアに所在する「中之島センタービル２階 NCB会館 松の間」を会場として確保した。
- ・ 会場借用時間は、イベント開催時間に加えて搬入・搬出時間も考慮し、９時～１９時まで確保した。
- ・ 講演会・プレゼン及びポスター展示・交流会を１会場内で実施した。
- ・ 会場前方は着席２００名の収容、かつ、会場後方は立席１００名の収容およびポスター２２枚の展示ができる広さを確保した。
- ・ 会場後方のポスター展示のエリアにパーテーションを５枚設置して表裏でポスター１０枚、会場の壁・柱を活用して１２枚の合計２２枚のポスターを貼付した。
- ・ 会場設営に必要な備品については、仕様書を参照し、近畿局と各備品の必要数を相談の上で準備した。
- ・ 講演会・プレゼンをハイブリッド開催できる通信環境を備えた会場を利用した。
- ・ オンライン配信は「YouTube Live」を前提として、配信に必要なとなる備品やシステムアカウント、アプリケーションを準備し、配信体制を整えた。

【会場候補一覧】

ホール名	広さ
大阪会議室 ツイン２１MIDタワー会議室 ８＋９会議室	490 m ²
TKPガーデンシティPREMIUM心斎橋 バンケット３A	522 m ²
スカイビル アウラホール	1341 m ²
大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）	541 m ²
オービックホール A＋B＋C	476 m ²
オーバルホール・毎日インテシオ	426 m ²
新大阪ワシントンホテルプラザ	660 m ²
ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター サファイアABC	407 m ²
中之島センタービル２階 NCB会館 松の間	495 m ²
関西大学梅田キャンパス ８F大ホール	396.6 m ²

＜②：近畿地域におけるバイオものづくり分野の実態調査＞

近畿局管内（大阪府・京都府・兵庫県・和歌山県・奈良県・滋賀県・福井県）においてバイオものづくり分野の活動を行う企業（２３社）および若手研究者（３１名）を調査の上、

活動拠点をまとめた近畿地域マップを2種類（企業等版・若手研究者版）に分けて作成し、企業等については事業概要を、若手研究者については研究概要を記載し、【別紙（1）】のとおりにまとめた。

＜③：登壇者の決定・連絡調整＞

i) 登壇者の決定

- ・事務局は、【別紙（1）】の調査内容を踏まえ、近畿局担当者と協議の上、ショートプレゼン登壇者（企業10者・若手研究者10名）を決定した。
- ・その他の登壇者（経済産業省・キーパーソン4名・NEDO）は、近畿局にて決定した。

【登壇者一覧】

●特別講演

No.	所 属 ・ 役 職	氏 名
1	経済産業省 商務サービスグループ 生物化学産業課長	下田 裕和

●講演（キーパーソン4名）

No.	所 属 ・ 役 職	氏 名
1	神戸大学 副学長／大学院科学技術イノベーション研究科 教授	近藤 昭彦
2	積水化学工業株式会社 R&Dセンター 先進技術研究所 環境・エネルギープロジェクト チーム長	小野 世吾
3	大阪大学 生物工学国際交流センター 教授	本田 孝祐
4	弁理士法人レクシード・テック パートナー弁理士	南野 研人

●ショートプレゼン（企業）

No.	所 属 ・ 役 職	氏 名
1	大阪ガス株式会社 エネルギー技術研究所 フェロー	坪田 潤
2	大関株式会社 総合研究所 所長	幸田 明生
3	株式会社カネカ CO ₂ Innovation Laboratory 所長	佐藤 俊輔
4	神戸天然物化学株式会社 営業本部 営業部 営業第三課	北島 詩夕
5	サラヤ株式会社 事業統括本部 課長	柴田 大資
6	株式会社Seed Bank 代表取締役	石井 健一郎
7	Symbio株式会社 代表取締役	伊藤 宏次
8	東洋紡株式会社 バイオテクノロジー研究所 所員	三善 賢弥
9	株式会社ファーマフーズ 開発部 次長	古賀 啓太

10	藤森工業株式会社 新規事業企画部 / 大阪大学 大学院工学研究科 バイオもの づくり社会実装(藤森工業)共同研究講座 課長 兼 プロジェク トリーダー	村岡 仁
----	--	------

●ショートプレゼン（若手研究者）

No.	所 属 ・ 役 職	氏 名
1	長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 准教授	石川 聖人
2	関西大学 化学生命工学部 准教授	岡野 憲司
3	京都大学 大学院農学研究科 准教授	岸野 重信
4	公益財団法人地球環境産業技術研究機構(R I T E) バイオ研究グループ 主任研究員	久保田 健
5	地方独立行政法人大阪産業技術研究所 環境技術研究部 主任研究員	駒 大輔
6	神戸大学 先端バイオ工学研究センター 特命助教	田中 謙也
7	大阪大学 大学院情報科学研究科 准教授	戸谷 吉博
8	国立研究開発法人産業技術総合研究所 関西センター 主任研究員	氷見山 幹基
9	国立研究開発法人産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 関西センター 研究員	迎 武紘
10	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 准教授	渡辺 大輔

●情報提供

No.	所 属 ・ 役 職	氏 名
1	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 材料・ナノテクノロジー部 バイオものづくり基金事業推進室長／バ イオものづくり革命推進事業 プロジェクト マネージャー	大石 知広

ii) 登壇者との連絡調整

- ・ 事務局は、キーパーソン4名・ショートプレゼン登壇者（企業10社・若手研究者10名）に対して以下の項目の連絡調整を行い、各登壇者より提出を受けたデータ及びイベント当日のスケジュールについて、近畿局担当者と共有した。
- ・ なお、近畿局との相談の結果、経済産業省・NEDOの登壇者については、近畿局にて連絡調整を行い、提出を受けたデータ及びイベント当日のスケジュールを事務局と共有することとなった。

■キーパーソン4名：

- ・各種データ（略歴・顔写真・講演タイトル・講演要旨・講演資料）の提出依頼
- ・イベント当日のスケジュール確認

■ショートプレゼン登壇者（企業１０社・若手研究者１０名）：

- ・各種データ（ポスターデータ・プレゼン資料）の提出依頼
- ・イベント当日のスケジュール確認

<④：旅費、謝金の支払い>

仕様書に基づき、事務局は、キーパーソン４名の旅費・謝金の支払い手続きについて対応した。（経済産業省・NEDO・ショートプレゼン登壇者を除く）。

<⑤：展示ポスターの作成>

i) 展示ポスターのひな形の作成

事務局は、展示ポスターのひな形（案）を提案し、近畿局担当者と協議の上、企業用・若手研究者用・業界団体用の展示ポスターのひな形を作成した（【別紙（２）】～【別紙（４）】）。

ii) 登壇者との連絡調整

- ・事務局は、ショートプレゼン登壇者（企業１０者・若手研究者１０名）に対し、展示ポスターのデータを作成・提出するよう依頼した。
- ・また、近畿局と相談の結果、ショートプレゼン登壇者に加えて、バイオサーファクタント勉強会および大阪工業大学の２者について、ポスター展示のみの対応をすることとした。
- ・提出された展示ポスターのデータを元に、事務局より外部業者に発注を行い、A０サイズの紙ポスターを印刷した。

<⑥：周知活動>

i) チラシの作成

事務局は、各登壇者より提出を受けた各種データ等（略歴・顔写真・講演タイトル・講演要旨）を元に、フォーラムのチラシ（【別紙（５）】）を作成し、近畿局に提出した。

ii) 開催案内メール及びメルマガの作成

事務局は、開催案内メール案及びメルマガ案を作成し、近畿局に提出した。

iii) イベント告知サイトの作成

事務局は、近畿局担当者と協議の上、イベント告知サイトを作成した（【別紙（６）】）。告知サイト作成にあたっては、情報セキュリティに関する事項を遵守し、政府機関ドメイン（「.g o . j p」）を取得した上で、外部業者に外注を行った。

iv) イベントの案内及び周知協力の依頼

- ・ 事務局は、イベントの案内先・協力依頼先を近畿局担当者と協議した上で、近畿局と事務局で分担しながら、開催案内メールの送信及びイベント周知協力の依頼（3機関）を実施した。
- ・ 加えて、当社運営「L a b T e c h (<https://labtech.jp/>)」のHPにてイベント情報を掲載し、イベント周知を行った。

<⑦：フォーラムの申込受付>

i) 申込フォームの作成

- ・ 事務局は、近畿局担当者と協議の上、イベント告知サイト内に申込フォームを作成した。フォーム作成にあたっては、情報セキュリティに関する事項を遵守し、政府機関ドメイン（「. g o . j p」）を取得した上で、外部業者に外注を行った【別紙（7）】。申込状況については近畿局・事務局で共有できる体制を整えた。
- ・ なお、近畿局担当者と協議の上、近畿局HPにイベント告知サイトのリンクを貼ることとなった。

ii) 申込の受付

- ・ 事務局は、申込フォームの仕様として、申込完了メールを自動通知する仕組みを構築した。また、申込内容の変更やキャンセル、参加希望者等からの問合せに応じた。
- ・ 事務局は申込み締め切り後に参加申込者名簿を近畿局担当者と共有した。オンライン参加者へのWEBリンク案内については、近畿局担当者との相談の結果、近畿局にて対応することとなった。

<⑧：会場レイアウトの作成>

事務局は、客席レイアウト（参加者、主催者、登壇者、関係者席の位置）、壇上レイアウト（登壇者演台、司会者台）の位置を記載した「会場レイアウト」を作成した。

<⑨：司会者・会場スタッフの手配>

i) 司会者

事務局は、近畿局担当者と協議の上、「司会者」を決定した。

ii) 会場スタッフ

事務局は、本事業の責任者1名・事業担当者2名と会場スタッフ4名の計7名を手配するとともに、オンライン配信については外部業者に外注し、「会場・進行責任者」「映像・カメラ担当」「スクリーン担当」「受付・誘導担当」「タイムキーパー」等を配置した。

＜⑩：開催運営マニュアルの作成＞

事務局は、近畿局担当者と協議の上、当日の運営に関するマニュアル（開催概要等の基本情報、会場レイアウト、会場スタッフ名簿と配置計画、登壇者の個別スケジュール、司会者原稿等）を作成した。

＜⑪：アンケートフォームの作成＞

事務局は、近畿局担当者と協議の上、フォーラムのアンケートフォームを作成した。フォーム作成にあたっては、情報セキュリティに関する事項を遵守し、政府機関ドメイン（「.go.jp」）を利用した。（【別紙（８）】）

（３）フォーラム当日の運営業務

＜①：会場の設営＞

事務局は、開催運営マニュアルに則って、受付開始までに会場設営およびオンライン配信の環境整備を完了した。会場側が設営を行った会場レイアウト等について確認を行った。

＜②：会場の運営＞

責任者にて、事業担当者及び会場スタッフを活用して、フォーラム開催会場等における運営を円滑に行うとともに、運営・進行状況等を近畿局担当者に報告した。

●主な対応事項

- ・ 会場入口までのアクセス方法は参加者へ事前連絡するとともに、イベント当日は会場建物内のデジタルサイネージにてイベント案内を行った。
- ・ 会場入口に受付用テーブルを設置し、登壇者用１列と一般参加者用３列に分けて対応した。
- ・ 客席レイアウト（参加者/主催者/登壇者/関係者の机・椅子・配付資料等）および壇上レイアウト（登壇者演台、司会者台等）の配置を確認した。
- ・ 外部業者と連携して、ＰＣの準備・操作、プロジェクターの配置を確認した。
- ・ 会場レイアウトのとおり、展示ポスター等の設置を行った。
- ・ 外部業者にて、ＰＣ、マイクを直ちに使用できる体制を構築し、操作補助が行えるようにした。

＜③：登壇者への対応＞

●主な対応事項

- ・ 近畿局担当者と協議の結果、登壇者の受付・座席誘導については近畿局にて対応した。
- ・ 講演等のタイムマネジメントについては、タイムキーパーにて残り時間を知らせる事前アナウンスするとともに、当日は以下のとおりで対応した。

20分発表者：予鈴3回。15分で1回、19分で2回、20分で3回

5分発表者：予鈴2回。4分で1回、5分で2回。

- ・PC操作の事前確認を実施した。

<④：会場参加者への対応>

●主な対応事項

- ・会場参加者の来場受付は、プログラム開始60分前である12時から開始した。
- ・参加申込者名簿と照合し参加確認を行うとともに、事前申込無しの参加者については、名刺を受領した上で、参加人数を把握した。
- ・登壇者の受付・座席誘導については近畿局にて対応した。
- ・申込者が途中入場する場合もあるため、受付時間経過後も受付ができる体制を維持した。

<⑤：オンライン参加者への対応>

●主な対応事項

- ・下図のとおり、オンライン画面にてプログラム開始45分前を目途にオンライン参加者のWEB入室を開始した。
- ・オンライン配信中の視聴人数については、イベント終了後に集計を行った。



<⑥：スクリーン管理>

ハイブリッド開催を踏まえながら、進行に応じて適切なタイミングで、スクリーンの表示・切り替え等の管理を行った。

<⑦：映像のオンライン配信>

- ・ オンライン配信および会場音響については外部業者にて対応した。
- ・ 講演の様子を撮影した映像をインターネット上でオンライン配信した。
- ・ 10時から配信準備を開始し、12時からオンライン登壇の経済産業省・NEDOの登壇者との事前接続テストを行い、問題なく配信ができるか確認した。
- ・ イベント中は配信が中断なく行われるように適切に保守管理を行うとともに、配信トラブルが生じた際は、速やかに復旧できるよう、別URLにてオンライン配信できるように用意するなど、配信トラブルに向けた対応が可能な体制を構築した。

<⑧：司会進行>

- ・ 開会に先立ち、会場参加者及びオンライン参加者に対して、スケジュールの案内やアンケート提出のお願い、録画・録音・撮影等の禁止等のアナウンスを行った。
- ・ 司会者は、会場・進行責任者の管理のもと会場借用時間を超過しないように進行した。

<⑨：アンケートの実施>

- ・ イベント開始時及びイベント終了時に、アンケート回答の協力依頼をアナウンスした。
- ・ 会場参加者については、近畿局担当者との相談の結果、イベント開催後にアンケート回答の依頼メールを送信することとなった。
- ・ オンライン参加者については、当日講演終了後10分間、下図のとおりWEBアンケートフォームの二次元バーコードを表示し、アンケート回答できる状態にした。
- ・ 近畿局担当者と相談の上、イベント終了後のアンケート回答の依頼メールについては、近畿局より送信することとなった。



(4) フォーラム開催後の業務

＜①：イベント参加者数の報告＞

イベント開催後、会場参加者・関係者の参加状況及びオンライン参加者の視聴情報を取りまとめた。以下のとおり報告した。

【事前の申込状況】 合計 757 名（会場参加 203 名、オンライン参加 554 名）

【会場参加の出欠状況】 合計：140 名

■事前申込：203 名（参加 135 名、欠席 68 名）

■当日参加：5 名

【関係者の参加状況】 40 名

■登壇者：24 名

■近畿局：5 名

■スタッフ：11 名（事務局 7 名＋外部業者 4 名）

※経済産業省・NEDO 登壇者についてはオンライン登壇

【オンライン配信の視聴状況】

■視聴回数：535 回

■配信総時間：4 時間 47 分

■最大同時接続数：291 名

■平均視聴時間：1 時間 52 分

＜②：開催まとめの作成＞

「関西バイオものづくりフォーラム 2024」の開催結果をとりまとめた。

＜③：オンデマンド配信の対応＞

3 月 11 日から 3 月 21 日まで、イベント申込者向けに本フォーラムのアーカイブ動画を Y o u T u b e の限定公開 (<https://www.youtube.com/watch?v=dWAHWMwfbdQ>) にてオンデマンド配信した。

関西バイオものづくりフォーラム2024

日時 2024年3月8日(金) 13:00-18:30

会場 中之島センタービル2階 NCB会館 松の間
(大阪府大阪市北区中之島6丁目2番27号)

参加無料

会場・オンラインのハイブリッド開催

近年、バイオテクノロジーとデジタル技術の進展により、微生物等の生物機能を最大限に活用した新たな「バイオものづくり」が生まれ、次世代を担う産業として国内外で大きな注目を集めています。関西では、バイオものづくり関連のNEDOプロジェクトに採択された企業や大学・研究機関が多数集積し、バイオエコノミー社会の実現に向けた具体的な取り組みが実施されています。本フォーラムは、バイオものづくりの社会実装の加速化に向けて、関西の「企業事例」「研究者」に焦点を当てた最新動向を日本全国に発信するとともに、新たな交流・連携の創出を図ることを目的としています。

0:00 / 3:54:33

関西バイオものづくりフォーラム2024

🔒 限定公開



関西バイオものづくりフォーラム
チャンネル登録者数 11人

チャンネル登録

👍 8

🔗

🔗 共有

🔖 保存

⋮

4. 本事業の成果及び次年度以降に向けた提言

＜本事業の成果＞

近畿局管内（大阪府・京都府・兵庫県・和歌山県・奈良県・滋賀県・福井県）においてバイオものづくり分野の活動を行う企業（23社）および若手研究者（31名）の実態調査を行ったことで、近畿地域におけるバイオものづくり分野の取り組みを見える化した。

また、バイオものづくりに関心のある企業、大学・研究機関、支援機関、金融機関等を広く対象に「関西バイオものづくりフォーラム2024」を開催した結果、会場・オンライン合計750名を超える申し込みがあり、ポスター展示・交流会でも活発な意見交換が行われ、バイオものづくり分野の機運醸成ならびにネットワークの形成・拡大につなげることができた。

＜次年度以降に向けた提言＞

本事業をきっかけに形成された関係者とのネットワークを強化していくためにも、ショートプレゼン企業・研究者に対してフォローアップを実施すること等が必要であると考えられる。加えて、ショートプレゼン企業・研究者の取組内容を掘り下げて情報発信するイベント等を実施することで、さらなる連携・交流の機会を創出するとともに、関係者との関係強化を図ることができると考えられる。

また、実態調査にて把握した企業・研究者のうち、今回は登壇していない企業・若手研究者についても登壇の機会を設けることで、関係者とのネットワーク拡大を図ることができると考えられる。

さらに、今後「バイオものづくり革命推進事業」2次公募の採択者が発表される予定であるため、これらの採択企業に登壇機会を創出することによって、当分野のさらなる機運醸成やネットワーク形成・拡大をすることが肝要であると考えられる。

以上

近畿地域におけるバイオものづくり関連の 企業・研究者マップ

- 本マップは、近畿経済産業局 令和5年度「『関西バイオものづくりフォーラム2024』を通じた、近畿地域におけるバイオものづくり分野の実態調査」により作成したものです（事業実施機関：株式会社産学連携研究所）。
- 本マップは、バイオものづくり関連の取り組みを行っていると考えられる企業・研究者の公表情報から作成したものであり、近畿地域の企業・研究者を網羅したものではありません。

2024年3月22日
近畿経済産業局

バイオものづくり関連の企業マップ

兵庫県
大関株式会社
株式会社カネカ
神戸天然物化学株式会社
株式会社シンアート
株式会社シンプロジェン
長瀬産業株式会社
株式会社バイオパレット
株式会社バックス・バイオイノベーション
ヤエガキ醗酵技研株式会社

大阪府
大阪ガス株式会社
サラヤ株式会社
住友化学株式会社
藤森工業株式会社

福井県
東洋紡株式会社

滋賀県
タカラバイオ株式会社

京都府
株式会社Seed Bank
株式会社島津製作所
Symbiobe株式会社
株式会社ちとせ研究所
株式会社ファーマフーズ
ホロバイオ株式会社
リージョナルフィッシュ株式会社

和歌山県
花王株式会社

※各種公表情報を基に作成(都道府県ごとに50音順で掲載)
※バイオものづくり関連の活動(研究開発・生産等)をしていると考えられる企業をマッピング(2024年3月時点)

兵庫県

会 社 名	活動拠点	事業概要(公表情報より抜粋)
大関株式会社	西宮市今津出在家町4-9 (本社工場)	伝統的な日本酒製造技術を基盤とし、その技術を応用して食品・化粧品原料や研究試薬の開発・販売を行っている。特に、日本酒の美肌成分「α-EG」やプロファイバー [®] 、酒粕調味料などの機能性素材の開発に注力し、遺伝子組換えカイコや麹菌を用いたタンパク質受託発現サービス、無細胞タンパク質合成サービスなど、独自のバイオ技術を駆使した製品やサービスを提供している。
株式会社カネカ	高砂市高砂町宮前町1-8 (高砂工業所)	植物油などを原料に微生物により生産されるカネカ生分解性バイオポリマー「Green Planet [®] 」の工業化に世界で初めて成功した実績がある。グリーンイノベーション基金事業に採択され、CO ₂ を直接原料としてGreen Planetを生産する新たな生産微生物等の開発に取り組んでいる。
神戸天然物化学株式会社	神戸市中央区港島南町7-1-19 (本社)	有機合成や分離精製などの技術的強みの他、微生物培養技術があり、一般微生物や遺伝子組換え体の培養から、目的とするタンパク質や二次代謝産物の提供をmg～kgオーダーで行っている。最大5,000Lまでのスケールアップが可能で、GMP対応や環境への配慮も徹底している。また、遺伝子組換え技術を用いた発現系の構築から、目的物の精製まで一貫して対応している。
株式会社シンアート	神戸市中央区港島南町6-3-7 (神戸研究センター)	合成生物学と合成化学を融合させ、モノづくりへの応用に特化したデザイン型のプラットフォームを通じて、新たな有用物質の設計・生産技術を開発している。ハイク、ヘルスケア、エネルギー分野など、高度な製造ニーズに対応する産業への応用が可能。同社技術は、合成生物学と合成化学の専門知識を組み合わせることで、製造プロセスを簡略化し、新たな価値創造を追求している。
株式会社シンプロジェン	神戸市中央区港島南町6-3-7 (本社・R&Dセンター)	独自のDNA合成技術である「OGAB [®] 法」およびその応用技術である「Combinatorial-OGAB法」を活用し、広範な分野における企業や研究機関に合成DNAを提供するとともに、自社で合成したDNAを原料とする垂直統合型ビジネスモデルとして遺伝子治療に特化したバイオファウンドリ、「遺伝子治療バイオファウンドリ [®] 」を展開している。
長瀬産業株式会社	神戸市西区室谷2-2-3 (ナガセバイオイノベーションセンター)	同社のバイオイノベーションセンターでは、遺伝子工学、酵素工学・代謝工学、バイオインフォマティクスを活用し、環境配慮型物質生産技術の開発に注力している。特に、放線菌を宿主とした物質生産技術において、多数の独自技術を保有。エルゴチオネインやシノリンなどの天然抗酸化物質や、フェリチン、D-セドヘブツロースなどの高生産技術を開発している。
株式会社バイオパレット	神戸市中央区港島南町6-3-7 (本社・R&Dセンター)	コア技術は、「切らないゲノム編集 [®] 」で、DNAを切断せずに点変異を導入する技術であり、ゲノム編集により最適化された細菌を用いてマイクロバイーム(細菌叢)の制御を実現し、マイクロバイーム治療における世界のリーディングカンパニーとなることを目指している。
株式会社バッカス・バイオイノベーション	神戸市中央区港島南町6-3-7 (本社)	神戸大学の研究成果であるバイオテクノロジー関連の先端技術とノウハウ、人材をパッケージで技術移転して、微生物等による有用物質生産に関する受託サービスや自社プロダクトの開発等を行う「統合型バイオファウンドリ [®] 」である。バイオものづくり分野でグリーンイノベーション基金事業に採択され、当分野の社会実装に向けた取り組みを実施。
ヤエガキ醗酵技研株式会社	姫路市林田町六九谷681 (本社)	発酵技術と最先端のバイオテクノロジーを融合し、食品用着色料、一般食品原料、機能性食品原料事業を展開している。乳酸菌から酵母、麹菌、担子菌まで、各種微生物に関する研究を続け、微生物や天然素材に含まれる生理活性物質を探索し、健康に寄与する機能性食品素材を開発している。特に、免疫素材、認知症改善素材、脂質代謝改善研究に注力している。

大阪府

会 社 名	活動拠点	事業概要（公表情報より抜粋）
大阪ガス株式会社	大阪市此花区西島6-19-9 （エネルギー技術研究所）	同社のエネルギー技術研究所では、下水や生ごみなどを発酵させてメタンを作り出すバイオガスや、ハロモナス菌によるケトン体の発酵生産などのバイオ技術を研究開発している。ケトン体は糖質の代わりになるだけでなく、様々な生理機能を有する糖質よりも優れたエネルギー源となり、健康サプリの原料として販売している。
サラヤ株式会社	柏原市玉手町24-12 （サラヤ総合研究所）	人と地球に優しい商品づくりに努めており、生物由来の界面活性剤であるバイオサーファクタント「ソホロリピッド®」を発酵生産に成功している。「ソホロリピッド®」は洗剤やスキンケア、再生医療への応用が可能であり、産学連携などにて幅広く研究活動を行っている。
住友化学株式会社	大阪市此花区春日出中3-1-98 （バイオサイエンス研究所）	同社のバイオサイエンス研究所では、オミックス研究、化合物スクリーニング、蛋白科学、微生物工学などの先端技術を用いて、医薬品や化学品の創製、安全性評価に関する研究を行い、新規事業の創出を目指している。微生物工学では、有用物質生産や排水の高度処理などの産業利用技術開発を行っている。
藤森工業株式会社	吹田市山田丘2-1 （大阪大学・吹田キャンパス）	バイオものづくり革命推進事業に共同提案・採択され、細胞性と牛肉の社会実装に係る研究開発を実施している。特に、同社は再生医療分野でのスケールアップ・大量製造技術を活かし、培養肉の原料となる細胞を安全に安定供給する大量培養技術の開発のほか、評価手法や仕組みの開発を実施予定である。

京都府

会 社 名	活動拠点	事業概要(公表情報より抜粋)
株式会社Seed Bank	京都市左京区北白川西町76-1 (本社)	微細藻類の培養技術に特化した企業であり、これまで培養が困難だった微細藻類の培養に成功し、人間の健康に貢献する物質を生産する種類を発見している。同社は、微細藻類の研究を通じて、独自培養株の作出から環境評価まで、独自技術を活用してワンストップで対応している。
株式会社島津製作所	京都市中京区西ノ京桑原町1 (本社)	革新バイオ技術を核とした研究開発に注力しており、先端分析技術との融合を進めている。特に、AIやIoT技術等を活用したバイオセンシング技術を活かして、バイオものづくり分野でグリーンイノベーション基金事業やバイオものづくり革命推進事業に採択され、当分野の社会実装に向けた取り組みを実施。
Symbiobe株式会社	京都市西京区御陵大原1-39 (京都大学・桂キャンパス)	光合成生物を活用して生分解性・海洋分解性のバイオ高分子を生産する技術を開発し、サステナブルな社会と産業の実現に貢献している。この技術を活用することで、地球規模の環境問題に対する解決策を提供し、自然との共生を目指している。
株式会社ちとせ研究所	京都市左京区北白川追分町 (京都大学・吉田キャンパス)	NEDOバイオものづくりプロジェクトやグリーンイノベーション基金事業に採択され、微生物、藻、動物細胞の能力を活用して、医薬品・食品・化学品・農業・エネルギーなどの分野で、光合成を基点にした循環型社会の実現に向けたバイオテクノロジー研究開発と事業開発を行っている。
株式会社ファーマフーズ	京都市西京区御陵大原1-49 (京都大学・桂キャンパス)	「医薬」と「食」の融合を目指し、健康維持と生活の質の向上に貢献する機能性食品素材を開発している。バイオものづくり革命推進事業に採択され、卵殻膜を衛生的に分離回収し、産業利用するサプライチェーンを構築し繊維・農業・電子材料素材等の高付加価値分野への応用を目指している。
ホロバイオ株式会社	京都市西京区御陵大原1-36 (京都大学・桂キャンパス)	分子生物学の知見を活用して地域固有の生物の機能を発見し、社会を支える革新的技術を生み出している。特に、機能性腸内細菌群を利用した新規生物育種技術により、養殖魚の成長促進、免疫強化、水質浄化などを促進し、持続可能な養殖漁業の実現を目指している。
リージョナルフィッシュ株式会社	京都市左京区吉田本町36-1 (京都大学・吉田キャンパス)	ゲノム編集技術とスマート養殖技術を駆使して、水産業界に革新をもたらす企業で、これらの技術の活用することで、自然進化を先取りし、品種改良を超高速で実現することが可能。これにより、水産養殖業を高付加価値化し、サステナブルな成長産業へと変革している。

福井県

会 社 名	活動拠点	事業概要(公表情報より抜粋)
東洋紡株式会社	敦賀市東洋町10-24 (バイオテクノロジー研究所)	バイオ技術を活用した製品開発に注力しており、PCR技術の効率化に貢献する酵素の開発や、RNA抽出精製スピードを大幅に短縮する技術を通じて、新薬開発の競争力を高めている。また、バイオものづくり革命推進事業に採択され、微生物を使って生産する天然由来の界面活性剤「マンノシルエリスリトールリピッド」の利用分野拡大に向けた革命的生産システムの開発を行う。

滋賀県

会 社 名	活動拠点	事業概要(公表情報より抜粋)
タカラバイオ株式会社	草津市野路東七丁目4-38 (本社)	試薬・機器、CDMO(受託開発製造)、遺伝子医療の3つの主要事業を展開している。特に、遺伝子治療薬の開発や高品質なRNA合成酵素の提供に力を入れており、デジタルPCR装置「Nio TM + system」の発売や、下水中から病原体遺伝子を検出できるキットの開発など、革新的な製品とサービスを提供している。

和歌山県

会 社 名	活動拠点	事業概要(公表情報より抜粋)
花王株式会社	和歌山県和歌山市湊1334 (生物科学研究所)	30年以上にわたって洗剤酵素などタンパク質の開発研究を行っており、適切な管理のもと微生物で効率的に生産するバイオ素材生産技術の開発にも取り組んでいる。一例が「次世代バイオ素材生産用枯草菌」で、次世代抗体医薬品として注目されている低分子抗体や、熱帯地域に蔓延する腸内寄生虫を駆除するタンパク質を、効率的かつ大量に生産できることを見出した。

バイオものづくり関連の研究者マップ

兵庫県	
【神戸大学】	
梶本 武利	野田 修平
砂山 博文	森 裕太郎
田中 謙也	

大阪府	
【大阪大学】	
酒井 香奈江	宮部 さやか
戸谷 吉博	
【大阪公立大学】	
遠藤 良輔	藤原 大佑
川上 洋司	増井 恭子
北山 雄己哉	山田 亮祐
【大阪工業大学】	
長森 英二	
【関西大学】	
岡野 憲司	
【産業技術総合研究所】	
氷見山 幹基	迎 武紘
【大阪産業技術研究所】	
駒 大輔	

滋賀県	
【長浜バイオ大学】	
石川 聖人	

京都府	
【京都大学】	
大前 仁	辻 優依
岸野 重信	寺本 好邦
杉村 和紀	
【京都工芸繊維大学】	
熊田 陽一	外岡 大志
外間 進悟	安永 秀計
【地球環境産業技術研究機構(RITE)】	
久保田 健	

奈良県	
【奈良先端科学大学院大学】	
渡辺 大輔	

※各公表情報を基に作成(各機関の研究者名50音順で掲載、敬称略)
※バイオものづくり関連の研究をしていると考えられる大学および公的研究機関の研究者をマッピング(2024年3月時点)
※大学は准教授・講師・助教の研究者を、公的研究機関は主任研究員・研究員を中心に記載

神戸大学

氏 名	所 属	役 職	研究概要(公表情報より抜粋)
梶本 武利	大学院 医学研究科	助教	機能生物化学、構造生物化学、ナノバイオサイエンスにて研究を行っている。特に、細胞内シグナル伝達のメカニズム、特にリン酸化によるシグナル伝達の調節、エクソソームを介した細胞間コミュニケーション、そして神経可塑性に関連する分子メカニズムの解明に焦点を当てている。
砂山 博文	大学院 医学研究科	准教授	ナノ技術と材料科学を応用し、特に生命科学の問題解決に貢献することを目指している。研究成果には、ハラル食品中の豚肉汚染の迅速かつ高感度な検出法の開発や、がん治療における放射線療法の効果を高めるための金ナノ粒子を含む分子印刷ポリマーナノゲルの研究などがある。
田中 謙也	先端バイオ工学研究センター	特命助教	シアノバクテリアを用いた光合成の活性化時の動的な代謝フラックス解析に焦点を当てており、特に光合成開始時の代謝機構の解明に貢献している。また、光合成生物の光環境適応における細胞内レドックスシグナル伝達機構の解明にも取り組んでおり、その研究は光合成の効率化や生物生産プロセスの開発に向けた基礎的な知見を提供している。
野田 修平	大学院 科学技術イノベーション研究科	准教授	タンパク質工学、酵素工学、合成生物学、代謝工学に重点を置いており、特に微生物を用いた有用化合物の合成に関する研究を行っている。微生物の代謝経路を改変し、環境に優しい方法で化学物質を生産する技術を開発している。
森 裕太郎	大学院 工学研究科	助教	合成生物学、酵素工学、タンパク質工学に重点を置いている。代謝経路の再構築や合成生物学的アプローチを通じて、環境に優しい持続可能な生産プロセスの開発に貢献するとともに、新しいバイオベースの材料や化学物質の商業化への道を開く可能性を秘めている。

大阪大学

氏 名	所 属	役 職	研究概要(公表情報より抜粋)
酒井 香奈江	大学院 工学研究科	寄附講座講師	ライフサイエンスと応用微生物学の分野で研究している。特に、微生物の応用に重点を置いており、微生物の病原性や生物学的応答に新たな光を当て、また微生物が環境ストレスにどのように反応するか、またそれらが人間の健康にどのように影響を与えるかについての理解を深めることに貢献している。
戸谷 吉博	大学院 情報科学研究科	准教授	微生物を利用した革新的なバイオプロセスの開発に焦点を当てている。具体的には、大腸菌などの微生物を使用して、再生可能なバイオマス資源から有用な化合物を生産する方法を研究している。このプロセスでは、細胞内の代謝経路を最適化し、目的物質への変換効率を高めるために、外部から照射可能な光を利用している。
宮部 さやか	大学院 工学研究科	助教	ナノテクノロジーと材料科学の分野で研究している。専門分野は、ナノテク・材料、構造材料、機能材料、生体材料に及び、複合材料や界面、腐食防食に関する研究を行っている。金属材料の表面改質や、その生体適合性向上に関する研究に注力しており、特に医療用インプラント材料の開発に貢献している。

大阪公立大学

氏 名	所 属	役 職	研究概要(公表情報より抜粋)
遠藤 良輔	大学院 農学研究科	講師	メタン発酵などのバイオマス転換技術と植物の生長との相互作用に関する実験的な解析を行い、植物の構造・機能と環境との関係を画像情報を活用した対話型の計測・制御手法を通じて研究している。農産廃棄物を対象としたメタン発酵により、有機性廃棄物を微生物によって分解し、エネルギーおよび液体肥料を回収することが可能である。
川上 洋司	大学院 工学研究科	准教授	金属と微生物の相互作用に関する研究を専門としている。微生物腐食と呼ばれる現象による金属材料の劣化メカニズムの解明や、抗菌性金属材料の開発に向けた研究を行っている。これらの研究は、金属材料が微生物の直接的または間接的な作用によってどのように劣化するか、また、金属材料が持つ抗菌性能をどのように高めるかに焦点を当てている。
北山 雄己哉	大学院 工学研究科	准教授	生体医工学およびナノテク・材料/高分子材料の分野において研究を行っている。特に、水媒体不均一系リビングラジカル重合を用いた精密高分子合成、機能性高分子微粒子の合成、界面光反応を利用した高分子微粒子の合成、分子インプリンティング技術を活用した機能性高分子微粒子の合成、および生体内分子を利用したドラッグデリバリーシステムの開発に焦点を当てている。
藤原 大佑	大学院 理学研究科	講師	ナノテクノロジーと材料科学、ケミカルバイオロジー、生物分子化学の分野で活動している。特に、進化分子工学を用いた特異的プロテインキナーゼ阻害剤の創製、細胞内プロテインネットワークの制御と機能解析、立体構造規制ペプチドライブラリーを用いた分子標的ペプチドの創出に焦点を当てている。
増井 恭子	大学院 理学研究科	講師	細胞機能の解明に向けた顕微分光計測手法の開発に焦点を当てており、ナノテクノロジーとバイオサイエンスの融合による新しい科学的知見の創出を目指している。具体的には、光ピンセットやプラズモニクス、ニューロフォトニクス、ラマン分光分析などの技術を駆使して、細胞内の分子動態や神経伝達物質の挙動を解析し、生体内でのナノスケールでの物質の相互作用を明らかにしている。
山田 亮祐	大学院 工学研究科	准教授	応用微生物学、反応工学、プロセスシステム工学、バイオ機能応用、バイオプロセス工学、循環型社会システムなどの研究を行っている。特に有用物質生産用微生物菌体触媒の開発、有機溶媒耐性酵素の開発、微生物細胞表層提示技術の開発に注力しており、これらの研究は生物化学工学、酵素工学、代謝工学などに関連している。

大阪工業大学

氏 名	所 属	役 職	研究概要(公表情報より抜粋)
長森 英二	工学部 生命工学科	准教授	生物化学工学、微生物培養工学、細胞・組織培養工学を専門とし、生物反応を利用したモノづくり技術に関する研究を進めている。特に、バイオテクノロジーと工学の融合の応用に焦点を当て、醸造、食品、化学、製薬業界での生産プロセスの理論と実践の理解、技術者育成に貢献している。

関西大学

氏 名	所 属	役 職	研究概要(公表情報より抜粋)
岡野 憲司	化学生命工学部 生命・生物工学科	准教授	バクテリオファージを利用した菌叢の改変技術に焦点を当てており、特定の微生物にのみ感染するバクテリオファージを用いて、菌叢から狙った微生物だけを除去する技術を開発している。また、ファージの人工合成技術も開発しており、菌叢をオンデマンドで改変することを目指している。この技術は疾患原因菌の特定や菌叢治療の実現に寄与すると考えられる。

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

氏 名	所 属	役 職	研究概要(公表情報より抜粋)
氷見山 幹基	バイオメディカル研究部門 生体分子創製研究グループ	主任研究員	タンパク質と触媒に関するもので、ライフサイエンスとナノテク・材料の分野にまたがる構造生物化学および生物分子化学に焦点を当てている。特に、タンパク質の化学的修飾や機能の再構築による新規人工金属酵素の開発、高温環境下でも活性を保つ酵素の構造解析とその応用に関する研究を行っている。
迎 武紘	バイオメディカル研究部門 先端ゲノムデザイン研究グループ	研究員	ニワトリを用いたレギュラトリーサイエンス、物質生産、培養技術に関連しており、特にニワトリの遺伝子工学や生殖工学技術の開発に焦点を当てている。ニワトリゲノム編集と鶏卵バイオリクター技術の開発が含まれ、ニワトリ卵白における組換えタンパク質のヒト型糖鎖修飾を実現することを目指している。

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所

氏 名	所 属	役 職	研究概要(公表情報より抜粋)
駒 大輔	環境技術研究部 環境材料・生物工学研究室	主任研究員	大腸菌の染色体DNAを改変し、糖質を原料として芳香族化合物を効率的に生産する技術を開発した。遺伝子工学における革新的なアプローチは、10種類の遺伝子を活用し、プラスミドを用いない方法で芳香族アミノ酸の高収率生産を実現した。芳香族化合物の新たな生産方法として、産業的な応用に大きな影響を与える可能性がある。

京都大学

氏 名	所 属	役 職	研究概要(公表情報より抜粋)
大前 仁	大学院 工学研究科	講師	生体関連化合物を用いた新規機能性材料の創製に取り組んでいる。特に、ペプチド化合物を用いた新規分子集合体や機能性材料の開発、遺伝子工学的手法による変異体タンパク質の創製と機能化に焦点を当てている。これらの研究は、生命現象の解明や分子ナノテクノロジーの発展に寄与することが期待されている。
岸野 重信	大学院 農学研究科	准教授	微生物の生理活性物質の探索とその機能解析に焦点を当てた研究を行っている。特に、微生物由来の新規バイオアクティブ化合物の発見と、それらが持つ抗菌性や抗がん性等の生物活性の詳細なメカニズムの解明に努めている。また、微生物の代謝工学やゲノム編集技術による有用な生理活性物質の生産性向上に関する研究も進めており、医薬品開発や農業分野への応用が期待されている。
杉村 和紀	大学院 農学研究科	助教	バイオマス素材の生来的特性を利用し、環境適合型の新規高機能性材料を構築する研究を行っている。天然系多糖と異種成分(合成ポリマー・無機化合物)との微視的複合化による高機能材料化、分子鎖・分子集合体の配向制御による異方性・液晶光学材料としての特性化に関する基礎および応用研究に重点を置いている。
辻 優依	大学院 工学研究科	特定助教	高分子材料(ゲル・エラストマー)に関する研究を行っている。特に、天然ゴムの自己補強メカニズムであるひずみ誘起結晶化(SIC: Strain-induced crystallization)に焦点を当て、ゴムが変形する際に高分子鎖が配向して伸び、結晶化が促進される現象とその化学的メカニズムについて研究している。今後、天然のクモ糸に関する研究やクモ糸タンパクに関する散乱測定なども実施予定。
寺本 好邦	大学院 農学研究科	准教授	生体分子の機能と構造を理解し、新しい材料を設計・開発する研究を行っている。ペプチドやタンパク質などの生体高分子の自己組織化メカニズムを解明し、それらを利用した高機能性材料の創出を目指している。また、生体内での分子間相互作用の解析や、生体材料のナノレベルでの構造制御にも力を入れており、医療やバイオテクノロジー分野への応用を視野に入れた研究を進めている。

京都工芸繊維大学

氏 名	所 属	役 職	研究概要(公表情報より抜粋)
熊田 陽一	分子化学系	准教授	バイオ機能応用とバイオプロセス工学の分野において、特に、抗体が有する分子を認識し結合する力「バイオアフィニティ」の最大化を目指した研究を行っている。抗体が持つ分子を認識し結合する力を利用し、これを社会実装することに重点を置いている。
外間 進悟	分子化学系	助教	ナノテクノロジーとバイオサイエンスの交差点に位置する研究を行っている。特に、バイオセンサー、蛍光イメージング、窒素空孔中心、ナノダイヤモンドに関する研究に注力している。ナノダイヤモンドを用いた生物学的量のセンシング(角度、温度、熱伝導率)や、細胞内での制御加熱に関するもので、これらの研究はナノバイオサイエンス分野における新たな可能性を開拓している。
外岡 大志	機械工学系	准教授	ナノバイオサイエンスとナノマイクロシステムの分野で研究を行っている。人工細胞膜を介した物質輸送の計測システムの開発に焦点を当てており、マイクロ加工技術と人工細胞膜作製技術を組み合わせることで、細胞膜を模倣した人工脂質二重膜で囲まれた微小空間をアレイ状に作製する技術を開発した。
安永 秀計	繊維学系	准教授	染色科学と高分子化学を専門とし、特にバイオベースマテリアルを用いた新しい染色法や染毛法の開発に注力している。化学的酸化や光照射を利用した染色法の開発、金属アレルギー対策のための繊維への機能加工、バイオカラントを用いたハプテン捕捉・検知機能加工など、幅広い分野に及んでいる。

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE)

氏 名	所 属	役 職	研究概要(公表情報より抜粋)
久保田 健	バイオ研究グループ	主任研究員	未利用資源から有用化学品を生産するバイオアップサイクリング技術の開発を進めている。この技術は、食品残渣などの未利用資源を原料とし、高付加価値製品へと変換することを目指している。RITEは、デジタル技術やロボティクスを活用し、産業用微生物の開発拠点の確立を行っており、大規模発酵生産技術や精製技術の開発も行っている。

奈良先端科学大学院大学

氏 名	所 属	役 職	研究概要(公表情報より抜粋)
渡辺 大輔	先端科学技術研究科	准教授	伝統的な発酵食品の製造過程で見られる微生物の相互作用とその複雑な振る舞いに焦点を当てている。特に、パンや酒類の製造に不可欠な酵母が、周囲の環境や他の微生物とどのように相互作用するかについての探求を行っている。

長浜バイオ大学

氏 名	所 属	役 職	研究概要(公表情報より抜粋)
石川 聖人	バイオサイエンス学部	准教授	環境問題の解決に貢献するバイオテクノロジーの開発に焦点を当てている。具体的には、微生物工学、遺伝子工学、タンパク質工学を駆使した合成生物学研究を推進し、新しいゲノム操作技術の開発、ファイバータンパク質の分子紡績、高速増殖細菌の実験自動化など、複数の研究テーマに取り組んでいる。

出所・参考資料＜企業＞①

大関株式会社

会社概要	https://www.ozeki.co.jp/
事業内容	https://www.ozeki.co.jp/food bio/

株式会社カネカ

会社概要	https://www.kaneka.co.jp/
Green Planet [®]	https://www.kaneka.co.jp/solutions/phbh/
グリーンイノベーション基金事業	https://www.kaneka.co.jp/topics/news/2023/nr2303221.html

神戸天然物化学株式会社

会社概要	https://www.kncweb.co.jp/company/about.html
微生物培養	https://www.kncweb.co.jp/technology/culture.html

株式会社シンアート

会社概要	https://synart.co.jp/
R&D	https://synart.co.jp/randd/

株式会社シンプロジェン

会社概要	https://www.synprogen.com/
Technology	https://www.synprogen.com/technology/

長瀬産業株式会社

会社概要	https://www.nagase.co.jp/
ナガセバイオイノベーションセンター	https://www.nagase.co.jp/enterprise/nagase-bio-innovation-center/

株式会社バイオパレット

会社概要	https://www.biopalette.co.jp/
Technology	https://www.biopalette.co.jp/technology/

出所・参考資料＜企業＞ ②

株式会社バックス・バイオノベーション

会社概要	https://b2i.co.jp/
グリーンイノベーション基金事業	https://www.b2i.co.jp/news/pdf/B2i Release 20230322 ja.pdf

ヤエガキ醗酵技研株式会社

会社概要	https://www.yaegaki.co.jp/bio/
ヤエガキ醗酵技研について	https://www.yaegaki.co.jp/bio/about/

大阪ガス株式会社

会社概要	https://www.osakagas.co.jp/
大注目の物質「ケトン体」の研究者を訪ねる！	https://www.daigasgroup.com/rd/theme/member/11/index.html

サラヤ株式会社

会社概要	https://www.saraya.com/
天然洗浄成分「ソホロリピッド」	https://www.saraya.com/news/2012y/729.html
ソホロと最先端再生医療	https://www.saraya.com/research/saisei/regeneration.html

住友化学株式会社

会社概要	https://www.sumitomo-chem.co.jp/
バイオサイエンス研究所	https://www.sumitomo-chem.co.jp/rd/laboratories/bioscience/

藤森工業株式会社

会社概要	https://www.zacros.co.jp/
バイオものづくり革命推進事業	https://ssl4.eir-parts.net/doc/7917/tdnet/2346830/00.pdf

株式会社Seed Bank

会社概要	https://microalgae-seedbank.com/company
分離・培養と保存	https://microalgae-seedbank.com/keep

出所・参考資料＜企業＞ ③

株式会社島津製作所	
会社概要	https://www.shimadzu.co.jp/
グリーンイノベーション基金事業	https://www.shimadzu.co.jp/news/2023/e1ihn91ut6sm3c8r.html
バイオものづくり革命推進事業	https://www.shimadzu.co.jp/sites/shimadzu.co.jp/files/ir/pdf/shimadzu integrated report 2023-0731.pdf
Symbiobe株式会社	
会社概要	https://www.symbiobe.jp/
株式会社ちとせ研究所	
会社概要	https://chitose-bio.com/jp/business/chitose laboratory
AIによる自動培養制御システムの開発	https://chitose-bio.com/jp/news/5747/
グリーンイノベーション基金事業	https://chitose-bio.com/jp/news/5188/
株式会社ファーマフーズ	
会社概要	https://www.pharmafoods.co.jp/
バイオものづくり革命推進事業	https://www.pharmafoods.co.jp/uploaded/files/d91aa1e28312bcfd92111226f4a86d9613c3adb2.pdf
ホロバイオ株式会社	
会社概要	https://www.holo-bio.com/
Our Research	https://www.holo-bio.com/reseach
リージョナルフィッシュ株式会社	
会社概要	https://regional.fish/
東洋紡株式会社	
会社概要	https://www.toyobo.co.jp/
技術・製品紹介	https://www.toyobo.co.jp/rd/topics/
バイオものづくり革命推進事業	https://www.toyobo.co.jp/news/2024/release 1578.html

出所・参考資料＜企業＞ ④

タカラバイオ株式会社

会社概要	https://www.takara-bio.co.jp/ja/index.html
事業紹介	https://www.takara-bio.co.jp/ja/business.html

花王株式会社

会社概要	https://www.kao.com/jp/innovation/research-development/fundamental/biological-science/
次世代バイオ素材生産用枯草菌の創製	https://www.kao.com/jp/innovation/research-development/fundamental/biological-science/bio-material/

出所・参考資料＜研究者＞①

神戸大学 大学院 医学研究科 助教 梶本 武利 氏

research map	https://researchmap.jp/taketoshi kajimoto
研究者紹介システム	https://kuid-rm-web.ofc.kobe-u.ac.jp/profile/ja.8e220f79f1940f77520e17560c007669.html

神戸大学 大学院 医学研究科 准教授 砂山 博文 氏

research map	https://researchmap.jp/7000029595
研究者紹介システム	https://kuid-rm-web.ofc.kobe-u.ac.jp/profile/ja.b5fec59bf7f590e4520e17560c007669.html

神戸大学 先端バイオ工学研究センター 特命助教 田中 謙也 氏

research map	https://researchmap.jp/tanaka kenya/?lang=ja
バイオ生産工学研究室	https://www2.kobe-u.ac.jp/~akondo/tanaka2.html

神戸大学 大学院 科学技術イノベーション研究科 准教授 野田 修平 氏

research map	https://researchmap.jp/8FE806
研究者紹介システム	https://kuid-rm-web.ofc.kobe-u.ac.jp/profile/ja.461645005781398f520e17560c007669.html

神戸大学 大学院 工学研究科 助教 森 裕太郎 氏

research map	https://researchmap.jp/yutaro-mori
バイオ生産工学研究室	https://www2.kobe-u.ac.jp/~akondo/mori.html

大阪大学 大学院 工学研究科 寄附講座講師 酒井 香奈江 氏

research map	https://researchmap.jp/7000020757
研究者総覧	https://rd.iai.osaka-u.ac.jp/ja/2a6008d8cb36d7d6.html

大阪大学 大学院 情報科学研究科 准教授 戸谷 吉博 氏

research map	https://researchmap.jp/ytoya
--------------	---

大阪大学 大学院 工学研究科 助教 宮部 さやか 氏

research map	https://researchmap.jp/read0151100
研究者総覧	https://rd.iai.osaka-u.ac.jp/ja/0301fe87e986a587.html

出所・参考資料＜研究者＞②

大阪公立大学 大学院 農学研究科 講師 遠藤 良輔 氏

research map	https://researchmap.jp/ryosuke endo
研究者情報	https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001916 ja.html

大阪公立大学 大学院 工学研究科 准教授 川上 洋司 氏

research map	https://researchmap.jp/read0161468
研究者情報	https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000777 ja.html

大阪公立大学 大学院 工学研究科 准教授 北山 雄己哉 氏

research map	https://researchmap.jp/7000005719
研究者情報	https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002463 ja.html

大阪公立大学 大学院 理学研究科 講師 藤原 大佑 氏

research map	https://researchmap.jp/DFujiwara OPU
研究者情報	https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002008 ja.html

大阪公立大学 大学院 理学研究科 講師 増井 恭子 氏

research map	https://researchmap.jp/masuikyoko
研究者情報	https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100001109 ja.html

大阪公立大学 大学院 工学研究科 准教授 山田 亮祐 氏

research map	https://researchmap.jp/7000004128
研究者情報	https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100002067 ja.html

大阪工業大学 工学部 生命工学科 准教授 長森 英二 氏

research map	https://researchmap.jp/read0155497
生物プロセス工学研究室(長森研)	https://www.oit.ac.jp/bio/labo/~nagamori/profile.html

関西大学 化学生命工学部 生命・生物工学科 准教授 岡野 憲司 氏

research map	https://researchmap.jp/kenji okano
--------------	---

出所・参考資料＜研究者＞③

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 生体分子創製研究グループ 主任研究員 氷見山 幹基 氏

research map	https://researchmap.jp/himi
研究部門紹介	https://unit.aist.go.jp/bmd/about/member.html

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 先端ゲノムデザイン研究グループ 研究員 迎 武紘 氏

KAKEN	https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000040803309/
研究部門紹介	https://unit.aist.go.jp/bmd/about/member.html

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 環境技術研究部 環境材料・生物工学研究室 主任研究員 駒 大輔 氏

research map	https://researchmap.jp/koma
環境材料・生物工学研究室	https://orist.jp/kenkyu-bu/kankyo-gizyutsu/ebme/

京都大学 大学院 工学研究科 講師 大前 仁 氏

research map	https://researchmap.jp/read0055816
教育研究活動データベース	https://kdb.iimc.kyoto-u.ac.jp/profile/ja.ed14b1b835aa0dae.html#display-items research
生体材料化学分野	https://www.mc.t.kyoto-u.ac.jp/ja/information/laboratory/seitai

京都大学 大学院 農学研究科 准教授 岸野 重信 氏

research map	https://researchmap.jp/kishino
教育研究活動データベース	https://kdb.iimc.kyoto-u.ac.jp/profile/ja.3cffdab7bf14a749.html#display-items research
発酵生理及び醸造学研究室	https://www.hakko.kais.kyoto-u.ac.jp/index.html

京都大学 大学院 農学研究科 助教 杉村 和紀 氏

research map	https://researchmap.jp/7000015090
教育研究活動データベース	https://kdb.iimc.kyoto-u.ac.jp/profile/ja.8fb8227b6e7375dd.html#display-items research

京都大学 大学院 工学研究科 特定助教 辻 優依 氏

research map	https://researchmap.jp/ytsuji 1994
研究者紹介	https://www.iring.t.kyoto-u.ac.jp/ja/research/list/y-tsuji/y-tsuji

出所・参考資料＜研究者＞④

京都大学 大学院 農学研究科 准教授 寺本 好邦 氏

research map	https://researchmap.jp/read0120544
教育研究活動データベース	https://kdb.iimc.kyoto-u.ac.jp/profile/ja.3e6180620ec5266d.html#display-items research
生物材料化学分野(研究概要)	https://www.chembiomater.kais.kyoto-u.ac.jp/

京都工芸繊維大学 分子化学系 准教授 熊田 陽一 氏

research map	https://researchmap.jp/bioaffinity
研究者総覧	https://www.hyokadb.jim.kit.ac.jp/profile/ja.16ca147af00e4743605b22cdcd86472b.html
研究室を知る	https://www.kit-chemenglab.com/about-us

京都工芸繊維大学 分子化学系 助教 外間 進悟 氏

research map	https://researchmap.jp/sotoma
研究者総覧	https://www.hyokadb.jim.kit.ac.jp/profile/ja.a8ad724387d2489b9aa2cb75dcfdc4b2.html

京都工芸繊維大学 機械工学系 准教授 外岡 大志 氏

research map	https://researchmap.jp/tonooka
研究者総覧	https://www.hyokadb.jim.kit.ac.jp/profile/ja.7fa0df662b348aee605b22cdcd86472b.html
研究シーズ	http://www.mech.kit.ac.jp/course/seeds/tonooka.html

京都工芸繊維大学 繊維学系 准教授 安永 秀計 氏

research map	https://researchmap.jp/read0167140
研究者総覧	https://www.hyokadb.jim.kit.ac.jp/profile/ja.b3ba40709f764a8bd53ea99f5f56da6d.html

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE) バイオ研究グループ 主任研究員 久保田 健 氏

research map	https://researchmap.jp/kubotat
バイオ研究グループ	https://www.rite.or.jp/bio/effort/

出所・参考資料＜研究者＞⑤

奈良先端科学大学院大学 先端科学技術研究科 准教授 渡辺 大輔 氏

research map	https://researchmap.jp/dean7tag
研究室	https://bsw3.naist.jp/courses/courses313.html

長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 准教授 石川 聖人 氏

research map	https://researchmap.jp/masahito ishi
研究活動	https://www.nagahama-i-bio.ac.jp/research/%E7%9F%B3%E5%B7%9D-%E8%81%96%E4%BA%BA/

[illegible]

① ● ● ●

[illegible]

写真・グラフ

② ● ● ●

[illegible]

写真・グラフ

[illegible]

[illegible][illegible][illegible][illegible]

[illegible]

① ● ● ●

[illegible]

写真・グラフ

② ● ● ●

[illegible]

写真・グラフ

(約270字)。

関西バイオものづくりフォーラム2024

日時

2024年3月8日(金) 13:00ー18:30

参加無料

会場

中之島センタービル2階 NCB会館 松の間
(大阪府大阪市北区中之島6丁目2番27号)

会場・オンラインの
ハイブリッド開催

近年、バイオテクノロジーとデジタル技術の進展により、微生物等の生物機能を最大限に活用した新たな「バイオものづくり」が生まれ、次世代を担う産業として国内外で大きな注目を集めています。関西では、バイオものづくり関連のNEDOプロジェクトに採択された企業や大学・研究機関が多数集積し、バイオエコノミー社会の実現に向けた具体的な取り組みが実施されています。

本フォーラムは、バイオものづくりの社会実装の加速化に向けて、関西の「企業事例」「研究者」に焦点を当てた最新動向を日本全国に発信するとともに、新たな交流・連携の創出を図ることを目的としています。

プログラム

➤ 13:00～13:05 開会挨拶

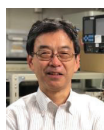
近畿経済産業局



➤ 13:05～13:25 特別講演

「激化する国際競争と我が国バイオ産業の競争力強化に向けて」

経済産業省 商務サービスグループ 生物化学産業課長 下田 裕和



➤ 13:25～13:45 講演 1

「日本型バイオファウンドリの構築に向けた戦略」

神戸大学 副学長／神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 教授 近藤 昭彦 氏



➤ 13:45～14:05 講演 2

「ごみ焼却場のガスから有価物生産」

積水化学工業株式会社 R&Dセンター 先進技術研究所 環境・エネルギープロジェクト チーム長 小野 世吾 氏



➤ 14:05～14:25 講演 3

「グリーントランスフォーメーション実現に貢献する微生物機能の開拓と開発」

大阪大学 生物工学国際交流センター 教授 本田 孝祐 氏



➤ 14:25～14:45 講演 4

「スマートセルに関連するゲノム編集特許の状況」

弁理士法人レクシード・テック パートナー弁理士 南野 研人 氏

➤ 14:55～15:45 企業によるショートプレゼン（5分×10社）

➤ 15:45～16:35 研究者によるショートプレゼン（5分×10名）

➤ 16:35～16:45 NEDOからの情報提供

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）材料・ナノテクノロジー部
バイオものづくり基金事業推進室長／バイオものづくり革命推進事業 プロジェクトマネージャー 大石 知広 氏

➤ 16:50～18:30 ポスター展示・交流会 <ショートプレゼン企業・研究者> (会場のみ)

講演要旨・プレゼン概要はフォーラム特設サイトにて順次公開する予定です。
本チラシ裏面の右下にある特設サイトよりご確認ください。

ショートプレゼン企業（10社）

2 大関(株)

3 (株)カネカ

1 大阪ガス(株)

4 神戸天然物化学(株)

5 サラヤ(株)

6 (株)Seed Bank

7 Symbiobe(株)

8 東洋紡(株)

9 (株)ファーマフーズ

10 藤森工業(株)

ショートプレゼン研究者（10名）

2 関西大学
准教授 岡野 憲司 氏

3 京都大学
准教授 岸野 重信 氏

1 長浜バイオ大学
准教授 石川 聖人 氏

5 大阪産業技術研究所
主任研究員 駒 大輔 氏

6 神戸大学
特命助教 田中 謙也 氏

4 地球環境産業技術研究機構
主任研究員 久保田 健 氏

8 産業技術総合研究所
主任研究員 氷見山 幹基 氏

9 産業技術総合研究所
研究員 迎 武紘 氏

7 大阪大学
准教授 戸谷 吉博 氏

10 奈良先端科学技術大学院大学
准教授 渡辺 大輔 氏

アクセス



【京阪電車】

・中之島線「中之島駅」2番出口から徒歩4分

【地下鉄】

・千日前線「阿波座駅」9番出口から徒歩8分
・中央線「阿波座駅」3番出口から徒歩10分

【市バス】

・大阪駅から53系統（船津橋行15分）「船津橋」下車すぐ
・淀屋橋駅から88系統（天保山行10分）「土佐堀三丁目」下車徒歩3分



アクセス詳細
こちらから

締切

2024年3月4日（月）まで

定員

会場：200名／オンライン：1,000名

主催

近畿経済産業局

後援

バイオコミュニティ関西（BiocK）

協力

NP0法人近畿バイオインダストリー振興会議／公益財団法人都市活力研究所／
一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン（LINK-J）／
一般財団法人バイオインダストリー協会（JBA）バイオエンジニアリング研究会

詳細・申込み

特設サイトにて、フォーラム詳細と
申込みフォームがございます。
右記の二次元バーコードあるいは
下記URLよりご確認ください。

(URL) <https://kansaibiomonodukuri-forum2024.go.jp/>



特設サイト
こちらから

（問い合わせ先）フォーラム事務局：株式会社産学連携研究所 担当：寺西、林

TEL：075-354-5301 FAX：075-354-5302 E-mail：info@kansaibiomonodukuri-forum2024.go.jp

【別紙（6）】

近畿経済産業局

TOP 概要 プログラム アクセス



お知らせ：本フォーラムは終了しております。

概要

近年、バイオテクノロジーとデジタル技術の進展により、微生物等の生物機能を最大限に活用した新たな「バイオものづくり」が生まれ、次世代を担う産業として国内外で大きな注目を集めています。関西では、バイオものづくり関連のNEDOプロジェクトに採択された企業や大学・研究機関が多数集積し、バイオエコノミー社会の実現に向けた具体的な取り組みが実施されています。

本フォーラムは、バイオものづくりの社会実装の加速化に向けて、関西の「企業事例」「研究者」に焦点を当てた最新動向を日本全国に発信するとともに、新たな交流・連携の創出を図ることを目的としています。

日時	2024年3月8日（金）13:00～18:30（ハイブリッド開催）
会場	中之島センタービル（2F）N C B会館 松の間 大阪府大阪市北区中之島6丁目2-27
定員	会場：200名／オンライン：1,000名
主催	近畿経済産業局
後援	バイオコミュニティ関西（BioK）
協力	NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議／公益財団法人都市活力研究所／一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン（LINK-J）／一般財団法人バイオインダストリー協会（JBA）バイオエンジニアリング研究会
対象	バイオものづくりに関心のある企業、大学・研究機関、支援機関、金融機関等

プログラム

講義の前に原稿を印刷したい場合はpdfを当ページよりダウンロードの上、ご自身でご用意ください。

開会挨拶 近畿経済産業局 13:00～

特別講演 13:05～

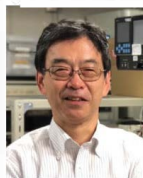
激化する国際競争と我が国バイオ産業の競争力強化に向けて



経済産業省
商務サービスグループ
生物化学産業課長 下田 裕和

講演・ショートプレゼン

日本型バイオファウンドリの構築に向けた戦略



神戸大学 副学長
神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科
教授 近藤 昭彦 氏

【略歴】
1988年 京都大学大学院工学研究科化学工学専攻 博士課程単位取得満期退学
同年 工学博士取得（京都大学）
1988年 九州工業大学 講師・助教授
1989年 神戸大学 工学部・助教授
2003年 神戸大学 工学部・教授（現任）
2007年 神戸大学 大学院工学研究科・教授
2016年 神戸大学 大学院科学技術イノベーション研究科・教授（現任）
2018年 神戸大学 先端バイオ工学研究センター・教授（現任）
2021年 副学長

【講演概要】

世界でバイオものづくりに関する研究開発に大きな投資がなされている。この開発を加速する中心的な技術が、先端バイオ技術（IT、AI技術、ロボット技術や革新的なプロセス工学技術）を融合（「バイオ・デジタル」融合）して誕生した技術分野Engineering biologyであり、最先端技術を結集したプラットフォームとしてのバイオファウンドリである。現在、世界的にEngineering biologyの研究開発が活発化するとともに、米国では強力なバイオファウンドリ企業も生まれている。本講演では、Engineering biologyやバイオファウンドリ技術の概要、そして世界的に競争力を持つ日本型バイオファウンドリの構築に向けた国内の研究開発の概要と将来展望について述べる。

ごみ焼却場から有価物生産



積水化学工業株式会社
R&Dセンター 先進技術研究所
環境・エネルギープロジェクトチーム長 小野 世吾 氏

【略歴】
2005年 北海道大学大学院 博士（水産科学）
2005年・2010年 産業技術研究所 特別研究員
2010年 現任 積水化学グループ 入社
2012年・2014年 Colorado State University 博士研究員

【講演概要】

バイオものづくり技術を利用したカーボンサイクルは、バイオマス資源や温室効果ガスであるCO₂を原料として化学品などを生産する取り組みであり、カーボンニュートラル社会の実現に向けた有効な選取の一つとされています。

積水化学は、微生物を活用して可燃性ごみをエタノールに変換するバイオリアクター技術を開発し、事業化に向けて実証を進めています。今回、バイオものづくり技術を核として、産業物処理施設から排出する燃焼排ガス（CO₂）を原料として高付加価値化学品を製造する革新的なものづくり手法を開発し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献したいと考えて、グリーンイノベーション基金に応募し採択されました。本発表では、実用化を目指す取り組みの内容を中心にご説明いたします。

グリーントランスフォーメーション実現に貢献する微生物機能の開拓と開発



大阪大学
生物工学国際交流センター
教授 本田 孝祐 氏

【略歴】
2003年3月 京都大学大学院農学研究科博士後期課程修了（博士（農学））
2003年4月 日本学術振興会・特別研究員
2004年4月 京都大学大学院農学研究科・博士研究員
2005年4月 大阪大学大学院生命先端工学専攻・助教
2010年6月 同上・准教授
（2011年4月～2014年3月 科学技術振興機構さきがけ研究員兼任）
2019年11月 大阪大学生物工学国際交流センター・教授

【講演概要】

微生物機能を利用したバイオものづくりは、グリーントランスフォーメーション（GX）の実現に向けた有望な技術分野として学術的にも産業的にも注目を集めている。演者が代表を務めるJST iText・バイオものづくり領域の微生物中核チームは、バイオものづくりをインパクトのあるGX技術へと昇華させるために必要な様々な基盤技術の開発に、約30名からなる若手研究者を中心としたチーム構成で取り組んでいる。本講演では、微生物中核チームで開発中のバイオものづくり技術について解説するほか、同分野の未来を支える次世代研究者の育成に向けたチームマネジメント面での工夫についても紹介したい。

スマートセルに関連するゲノム編集特許の状況



井理士法人レクシード・テック
パートナー井理士 南野 研人 氏

【略歴】
2006年：国立大学法人京都大学 理学部理学科卒業
2012年：国立大学法人京都大学大学院 生命科学研究所博士課程修了（博士（生命科学））
2012年：辻丸園特許事務所入所
2014年：井理士登録
2022年：井理士法人レクシード・テック設立
2022年～：特許庁 IPAS事業 知財メンター

【講演概要】

バイオものづくりでは、目的の有用物質を生産する微生物（スマートセル）が重要となります。スマートセルの作製には、微生物ゲノムの設計および代謝経路の最適化し、これに基づき微生物に対して遺伝子改変を行います。CRISPR/Casシステムの発見により、ゲノム編集の効率性が大幅に低下する一方、関連する特許の激しい争奪戦が繰り広げられています。そこで、本講演では、CRISPR/Casシステムに関する特許の状況および関連するライセンスの枠組みについて解説します。

企業等によるショートプレゼン

14:55～

大阪ガス株式会社 エネルギー技術研究所 フェロー 坪田 潤氏 	大陽株式会社 総合研究所 所長 幸田 明生氏 	株式会社カネカ CO2 Innovation Laboratory 所長 乾藤 肇嗣氏
神戸天然物化学株式会社 営業本部 営業部 営業第三課 北島 詩夕氏 	サラヤ株式会社 事業統括本部 課長 柴田 大智氏 	株式会社Seed Bank 代表取締役 石井 健一郎氏
Symbiole株式会社 代表取締役 伊藤 宏次氏 	東洋薬株式会社 バイオテクノロジー研究所 所員 三善 賢弥氏 	株式会社ファームフーズ 開発部 次長 古賀 啓太氏
藤森工業株式会社 新規事業企画部 / 大阪大学 大学院工学研究科 バイオものづくり社会実装（藤森工業）共同研究講座 課長 兼 プロジェクトリーダー 村岡 仁氏 		

研究者によるショートプレゼン

15:45～

長浜バイオ大学 バイサイエンス学部 准教授 石川 聖人氏 	関西大学 化学生命工学部 准教授 岡野 素司氏 	京都大学 大学院農学研究科 准教授 岸野 重信氏
地球環境産業技術研究機構(RITE) バイ研究グループ 主任研究員 久保田 健氏 	地方独立行政法人大阪産業技術研究所 環境技術研究部 主任研究員 劉 大輔氏 	神戸大学 先端バイオ工学研究センター 特命助教 田中 誠也氏
大阪大学 大学院情報科学研究科 准教授 戸谷 吉博氏 	産業技術総合研究所 関西センター 主任研究員 永見山 幹基氏 	産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 関西センター 研究員 恵 武敏氏
奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 准教授 渡辺 大輔氏 		

NEDOからの情報提供

16:35～

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

材料・ナノテクノロジー部 バイオものづくり基金事業推進室長／バイオものづくり革命推進事業プロジェクトマネージャー
大石 知広 氏

下記2点についてはポスター展示のみとなります

バイオサーファクタント勉強会

ポスターデータ(PDF)

大阪工業大学 バイオものづくりラボ

ポスターデータ(PDF)

参加について

当イベントはオンラインとイベント会場同時開催のハイブリッド形式で実施いたします。
募集人数などについては次のとおりです。
必須事項を応募フォームに入力し、申し込みをお願いいたします。
希望者が多い場合は先着順となりますので、あらかじめご了承ください。

開催日時	2024年3月8日（金）13:00～18:30（ハイブリッド開催）
会場	中之島センタービル（2F）N C B 会館 松の間
定員	会場：200名／オンライン：1,000名
対象	バイオものづくりに関心のある企業、大学・研究機関、支援機関、金融機関等
参加費用	無料

フォーラムは終了いたしました。

アクセス

会場名	中之島センタービル N C B 会館
フロア	2F 松の間
住 所	大阪府大阪市北区中之島6丁目2-27
交 通	【京阪電車】 ・中之島線「中之島駅」2番出口から徒歩4分 【地下鉄】 ・千日前線「阿波座駅」9番出口から徒歩8分 ・中央線「阿波座駅」3番出口から徒歩10分 【市バス】 ・大阪駅から53系統(船津橋行15分)「船津橋」下車すぐ ・淀屋橋駅から88系統(天保山行10分)「土佐堀三丁目」下車徒歩3分

会場までのアクセスおよび会場MAP



お問い合わせ

本フォーラムへのお問い合わせについては下記までご連絡ください。

フォーラム事務局

株式会社産学連携研究所 担当：寺西、榊原
TEL：075-354-5301
FAX：075-354-5302
e-mail：info@kansai-biomonodukuri-forum2024.go.jp
受付時間：09:00-18:00

関西バイオものづくり フォーラム 2024

申込フォーム

必須項目を入力の上、個人情報保護方針に同意し、お申込みください。

法人・団体名 *必須

勤務先所在地 *必須

以下から選択してください

部署名 *必須

役職

氏名 *必須

メールアドレス *必須

メールアドレス（確認） *必須

電話番号（半角数字、ハイフンのみ） *必須

参加形式 *必須

☐ 現地参加 ☐ オンライン参加

近畿経済産業局からのバイオ関連の案内をメールさせていただいても良いでしょうか。 *必須

☒ 可能 ☐ 不可

本フォーラムをどちらでお知りになりましたか。 *必須

☐ 近畿経済産業局HP ☐ 近畿経済産業局メルマガ ☐ Block ☐ その他

その他、不明点やご意見がございましたらご記入ください。

近畿経済産業局では、[個人情報保護方針（外部リンク）](#)に従って個人情報を取り扱っています。

▼個人情報の利用目的

ご回答の際に記入いただいた個人情報は、本イベントの開催および今後のイベント開催の検討に利用いたします。

▼個人情報の共同利用

ご回答の際に記入いただいた個人情報は、以下の共同利用者及び利用目的のために、共同して利用させていただくことがあります。

- 共同利用する個人情報の項目
ご回答の際に記入いただいた事項。
- 共同利用者
このイベントの主催者（事務局を含む）・登壇者
- 利用目的
本イベントの開催および今後のイベント開催の検討に利用するため。
- 管理責任者
各共同利用者。

なお、法令に定める場合を除き、これら以外の目的には利用または第三者提供いたしません。

☐ 上記内容に同意し参加を申し込みます *必須

申し込む

関西バイオものづくり フォーラム 2024

アンケートフォーム

機関名

氏名

機関カテゴリー ***必須**

- ☐ 素材・化成品・化粧品 ☐ 医薬・創薬 ☐ 資源・エネルギー ☐ 食品・農林水産・畜産・飲料 ☐ 大学・研究機関
☐ 官公庁・自治体関係機関 ☐ バイオクラスター・業界団体 ☐ その他

参加形式 ***必須**

- ☐ 現地参加 ☐ オンライン参加

本フォーラムの満足度をお聞かせください。 ***必須**

- ☐ 大いに満足した ☐ 満足した ☐ 普通 ☐ あまり満足しなかった ☐ 満足しなかった

本フォーラムのプログラム（講演、ショートプレゼン、ポスター展示・交流会）に関するご意見があれば、ご自由に記載ください。

今後、バイオものづくり分野において、どのようなテーマ・内容のイベントに参加したいですか。

貴機関でのバイオものづくりに関する取組み内容・予定をお聞かせください。

バイオものづくり分野での他機関との共同研究・協業など、連携の希望はございますか。
差し支えなければご教示ください。

- ☐ 有 ☐ 無

<前項にて「有」を選択した場合のみ>

どのようなテーマ・機関と連携をお考えか、可能な範囲でお聞かせください。

その他、不明点やご意見がございましたらご記入ください。

近畿経済産業局では、[個人情報保護方針（外部リンク）](#)に従って個人情報を取り扱っています。

▼個人情報の利用目的

ご回答の際に記入いただいた個人情報は、本イベントの開催および今後のイベント開催の検討に利用いたします。

▼個人情報の共同利用

ご回答の際に記入いただいた個人情報は、以下の共同利用者及び利用目的のために、共同して利用させていただくことがあります。

- 共同利用する個人情報の項目
ご回答の際に記入いただいた事項。
- 共同利用者
このイベントの主催者（事務局を含む）・登壇者
- 利用目的
本イベントの開催および今後のイベント開催の検討に利用するため。
- 管理責任者
各共同利用者。

なお、法令に定める場合を除き、これら以外の目的には利用または第三者提供いたしません。

☐ 上記内容に同意します ***必須**